

有害プランクトン情報 R8-1号 第18報

赤潮注意報 (伊万里湾)

令和8年7月13日

佐賀県玄海水産振興センター

伊万里湾でカレニア ミキモトイ と シャットネラ属が
確認されています。

7月13日の伊万里湾での調査において、有害種であるカレニアミキモトイとシャットネラ属が確認されています。

カレニア ミキモトイの最高細胞密度は、福島南（B-1m：水深8.6m）の10細胞/mLです。
シャットネラ属の最高細胞密度は、大浦浜港内（水深5m）の24細胞/mLです。

カレニア ミキモトイとシャットネラ属は、魚介類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚介類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

☐ 貝類 養殖・蓄養	巻貝	注意報 (カレニア ミキモトイ)	・餌止め（アワビ） ・貝掃除等の作業の停止
☐ 魚類 養殖・蓄養		注意報 (シャットネラ属)	・喰わせ込みの停止 ・早期出荷 ・生け簀移動・網丈延長の準備と実行 ・淡水浴、薬浴、歯切り等の作業の停止

【留意点】

- ・カレニア ミキモトイは魚貝類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。
- ・カレニア ミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。

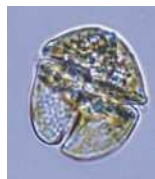
特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。

カレニア ミキモトイ の注意・警戒密度の目安

【対象：巻貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL



カレニア ミキモトイ

シャットネラ属 の注意・警戒密度の目安

【対象：魚類】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：100 細胞数/mL



シャットネラ属

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

有害プランクトン情報 R8-1号 第18報

赤潮注意報

(伊万里湾)

調査年月日：令和8年7月13日

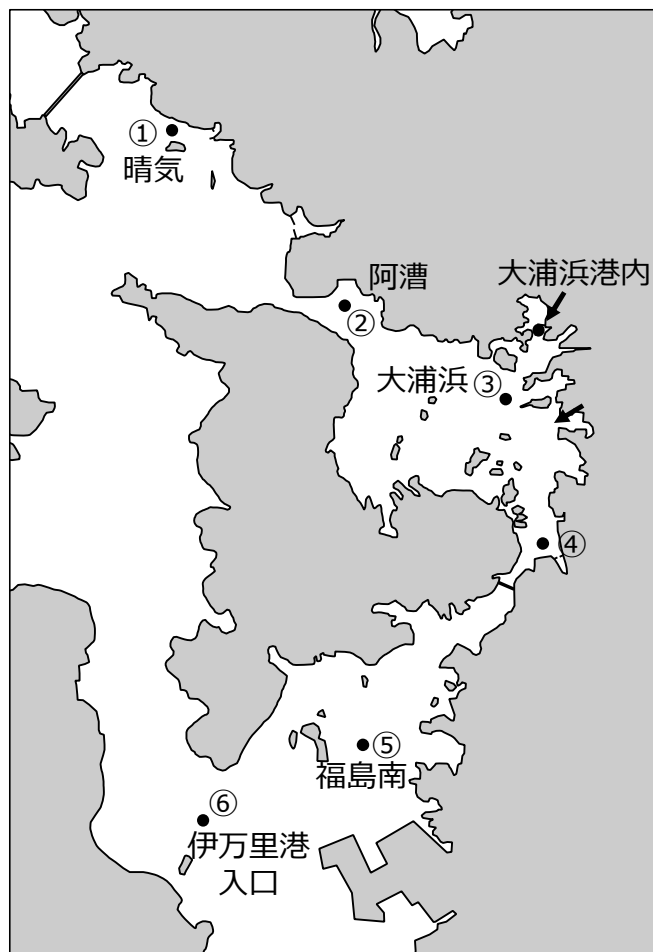
採水時間：9時37分～11時25分

□ プランクトン細胞数

地点名	採水層 (m)	※ (細胞/ml)			
		カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	コクロディ ニウム属	珧藻類
① 晴気 (水深 17.3 m)	0	0	0	0	56
	5	0	0	0	252
	10	0	0	0	44
	B-1	0	0	0	50
② 阿漕 (水深 17.9 m)	0	0	0	4	358
	5	0	0	0	98
	10	0	0	0	168
	B-1	2	0	0	132
③ 大浦浜 (水深 11.6 m)	0	0	0	0	560
	5	2	0	0	310
	10	2	0	0	570
	B-1	0	0	0	840
④ 波多津 (水深 8.5 m)	0	0	0	0	254
	5	2	0	0	302
	B-1	4	4	0	222
⑤ 福島南 (水深 9.6 m)	0	8	0	0	438
	5	6	0	0	256
	B-1	10	0	0	66
⑥ 伊万里港 入口 (水深 13.3 m)	0	4	0	0	328
	5	0	0	0	190
	10	0	0	0	192
	B-1	2	2	0	186

地点名	採水層 (m)	※ (細胞/ml)			
		カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	コクロディ ニウム属	珧藻類
大浦浜港内 (水深 5.6 m)	0	0	2	0	184
	5	8	24	0	154

□ 調査地点図



※ 現在、「マルガレフィディニウム属」に名称変更されていますが、本情報では変更前の「コクロディニウム属」で表記しています。

次回の調査は 7月21日（火）の予定です。